

地域における共助の醸成について町の考えは

近年気候変動がもたらす自然災害が世界各国で発生し、その規模は年々増大の傾向にある。国内においてもこれまでに経験がないと報道される自然災害が各地で発生し、尊い人命が失われる例も少なくない。

このような自然災害は日本中いっどこで発生してもおかしくないと言われている昨今、自然災害に対する万全の備えは本町の安心安全に暮らせるまちづくりにとって大変重要なこととは言うまでもない。

災害に対する備えや発生時の対策で重要なのは自助、共助、公助と言われており、自分の身は自分で守るという自助の大切さは多くの町民が認識しているところである。

また、地域住民がお互いに協力し助け合う共助の重要性は、災害発生現場からの報道を見ても十分理解できることであり、日常生活における近所との付き合いや連携は、いざという時の命と生活を守る大切な絆と言っても過言ではない。

本町は人口増加が進む中で、新たに移り住まわれた方々との共助を醸成することが大変重要であると考えます。

そこで以下の内容について町の考えを問う。

- 1 地域における共助の醸成について
- 2 新たに移り住まわれた方の自治会加入促進について